

10/4 (火) の行事

はじめよう、つづけよう。

「新北海道スタイル」



～新型コロナウイルスに強い北海道をつくる～ 新北海道スタイル

報道発表資料の配付日時 10月4日(火) 19時00分

発表項目 (行事名)	北朝鮮ミサイル発射に関する緊急要請の実施について		
記者レクチャー のお知らせ	(実施日時)	発表者	
		発表場所	
概要	<p>○ 本日、北朝鮮がミサイルを発射し、青森県上空を通過して、太平洋に落下したと推定される事態が発生したことを受け、北海道と青森県は、共同で、国に対し緊急要請を行いました。</p> <p style="text-align: center;">記</p> <p>1 要請日 令和4年10月4日(火)</p> <p>2 要請先 内閣官房長官 松野 博一 外務大臣 林 芳正 国土交通大臣 齊藤 鉄夫 消防庁長官 前田 一浩 水産庁長官 神谷 崇 海上保安庁長官 石井 昌平 ほか</p> <p>3 要請者 北海道知事 鈴木 直道 青森県知事 三村 申吾</p> <p>4 要請方法 北海道東京事務所職員が関係省庁に持参</p> <p>5 要請書 別紙のとおり</p>		

報道(取材) に当たって のお願い		
他のクラブ との関係	同時配付 (場所)	
	同時レク	

担当 (連絡先)	総務部危機対策局危機対策課 (担当者: 課長補佐 三田地) TEL ダイヤルイン 011-204-5014 内線22-556
-------------	---

北朝鮮によるミサイルの発射に関する緊急要請

令和4年10月4日

北 海 道  
青 森 県

## 北朝鮮によるミサイルの発射に関する緊急要請

令和4年10月4日7時22分頃に、北朝鮮が弾道ミサイル1発を東方向に発射し、青森県上空を通過した後、7時44分頃、太平洋上のわが国の排他的経済水域外に落下したと推定される。

北朝鮮による弾道ミサイル発射は、今年に入り計20回にわたり、極めて高い頻度で続いており、3月24日には渡島半島の西方約150kmの排他的経済水域内に落下したことに加え、今般、青森県上空を通過したことは、これまでにない極めて重大かつ差し迫った脅威であり、北海道と青森県の住民の不安も著しく増大するなど、住民の安全・安心に対し極めて憂慮すべき事態であり、断じて容認することはできない。

北朝鮮による一連のミサイルの発射は、関連する国連安保理決議に明白に違反しており、国におかれては、以下の事項に対応頂き、北朝鮮がこのような不測の事態も生じかねない暴挙を繰り返すことがないよう、国際社会との連携のもと、適切に対処していただくことを強く要請する。

### 記

- 1 北朝鮮により繰り返されるミサイルの発射は、国民の生命、身体、財産、わが国の領土・領海・領空を脅かすことから、北朝鮮に自制を求める毅然とした外交交渉を推進すること。
- 2 ミサイルの飛来・着弾事態に備え、より迅速かつ的確に情報を伝達するとともに、国民の保護を最優先とし、万全の措置を講じること。
- 3 操業する漁船などの船舶や航行中の航空機に対し、引き続きミサイル発射に係る情報の迅速な伝達に努めるとともに、万が一、被害が及んだ場合には、責任を持って救済策を講じること。

令和4年10月4日

北海道知事 鈴木 直道  
青森県知事 三村 申吾